



## 命を守る くらしと 市政を共に

市民の

2024年2月定例会

### 新年度予算等について紹介します

2024年2月定例会が、2月16日から3月22日までの会期で行われました。一般会計で約1700億円、上下水道事業や国保など特別会計あわせると約2800億円にのぼる新年度予算案や条例案が審議されました。本会議質問や委員会での市長の政治姿勢や具体的な施策の問題点が明らかになり、日本共産党は新年度一般会計予算案等に反対しました。また任期満了に伴う吹田市副市長(春藤尚久氏)の選任については賛成多数で承認されました。



評価  
できる  
事業

### 子育て・教育

#### 子ども食堂等への 運営費助成を実施

現在各地域で子ども食堂が10中学校区13か所で実施されています。日本共産党は、開設補助に加えて運営費補助についても求めてきました。さらに目標の全18中学校区での開設、小学校区1か所以上の設置を求めました。



- 小学校給食費は半年間無償
- 中学校給食は一年間の半額補助を継続

日本共産党は、半年間だけではなく年間通じての事業の継続と恒久化を求めました。

#### 小学校の不登校支援員 配置の拡大

2023年度に大阪府のモデル事業として市内1校で実施し、新年度から市独自の予算で新たに5校、合計6校で実施します(週4日、午前中のみ)。子どもの実態にあわせ、時間延長や日数の拡大、全校での実施を求めました。

#### 妊娠・出産包括支援事業の 産後ケア利用料の減免

- 保育所保護者への第2子保育料無償化
- 4・5歳児クラスの保育士配置基準の拡充

日本共産党は、さらに第1子の保育料の軽減や0～3歳児クラスの配置基準の拡充、保育士の正規職員化を求めました。

日本共産党は、学校給食費無償化の恒久化や災害対策の充実など公約と市民要求実現に奮闘しました。各議員による質問、施策の前進面と問題点、意見書の結果などについて紹介します。

### 意見書 の結果

日本共産党  
が提案

## 政治資金規正法に係る 疑惑解明を求める意見書

全会一致  
で可決

自由民主党の派閥が、政治資金パーティーの収入の一部を収支報告書に記載していなかった問題について、政治資金規正法違反の疑いが強く指摘されている。政治に対する国民の信頼を著しく損ね

る行為であり、疑惑の全容が完全に解明されるよう、関係当局の調査への全面的な協力と国民への説明責任を果たすことを政府に求める。

## 国際的な知見に基づくPFAS対策を求める意見書

賛成多数で可決

2020年度に環境省が行った、PFASの製造、使用の実績がある施設などの周辺における調査では、同省が設定した暫定的な目標値を超えるPFASが全国各地で検出され、人体へのばく露防止の対策などを講じていく必要が高まっている。欧州食品安全機関などに比べ国の指標値はそれらを大きく下回るほか、示されない項目もあり、発がん性、新生児の体重増加抑制や免疫抑制、脂質異常など重大な疾病とPFASとの関係性が指摘され不安が高まっており、国の食品安全委員会によるPFASの食品健康影響評価の再評価が行われるよう政府に強く求める

用語解説

#### 【PFOA/ピーフォア】

有機フッ素化合物の一種。残存性・蓄積性・毒性が高く、世界で製造・使用が原則禁止になった物質。ダイキン工業淀川製作所で長年製造・使用された。2012年に終了したが、周辺での高濃度汚染が現在も検出されている。

#### 【PFAS/ピーファス】

有機フッ素化合物の総称。

	日本共産党	大阪維新の会	公明党	自民党	吹田党	市民と歩む議員の会	参政党	立憲民主党
国際的な知見に基づくPFAS対策を求める意見書	可決 ○	○	×	×	○	○	○	○

### 議会報告会 を行いました



日本共産党市議会議員団は、昨年11月9日に千里山コミュニティセンターを会場にして「議会報告会」を行いました。また13日にはオンラインにより開催。9月定例会について各議員から補正予算の内容などについて報告。参加者からは質問や意見が寄せられました。



ホームページ  
リニューアル  
しました



日本共産党吹田市議員団  
ホームページ

